

インターンシップを終えて

特に印象に残ったこと

🍌 プレ模擬治験ワークショップです。これは患者さんが治験に参加することを想定した体験型ワークショップでした。

🍌 実際に参加してみると、自分が治験を受ける側に立つことがとても新鮮でした。自分が患者で治験に参加すると考えた時、治験に関する資料の情報や説明の時間がこれで十分なのか、足りないことはないのかなど、いろいろ気になりました。実際の現場では説明の時間を十分にとって、公開できる情報はなるべくすべて伝えた方が患者さんは安心できそうと感じました。

🍌 人によって意見もばらばらで驚きました。特に治験に反対する意見の理由を聞いてみて、自分は気づかなかった視点に着目したものもあり、とても勉強になりました。また、治験薬の効果、副作用に関するだけでなく、治験参加者の今後の人生やその過ごし方、家族、友人の意見、さまざまな意見を聞くことができ、興味深い時間を過ごすことができました。

メンバーと交流して

📢 治験アンバサダートレーニングでは受講者の熱量に驚かされました。特にドラッグ・ドラッグロスについての質問が多く、治療の機会の損失防止は患者さんにとって大きな問題だと気づかされました。YORIAILabの対面ミーティングは、話しやすい雰囲気でした。

📢 一緒に活動している方々の普段のお仕事や、医薬品開発に対しての思いを聞いて、モチベーションが高まりました。ありがとうございました！

